



陣見山

夢と笑顔と「ありがとう」が
あふれる松久小学校

令和2年 2月17日

第 20 号



来年度の 1年生は27名



1・2年生と交流会

去る1月29日(月)、令和2年度入学予定児童

の入学説明会を行いました。入学する児童は、27名の予定です。(2月1日現在) 少子化の中ですが、今年度より2名増となります。説明会では、保護者等に学校の概要や入学するにあたり用意してもらうもの、書類等について説明いたしました。入学予定の児童は、1・2年生と交流会をもち、学校の雰囲気を味わってもらいました。

入学式は、4月8日(水)です。



一緒にコマ回し

音読朝会

本校では、学年ごとに題材を決めて、全校の前で発表する「音読朝会」に取り

組んでいます。1月22日(水)に1年生が発表し、全学年の発表が終了しました。1年生の音読(暗誦)は、一人一人の児童がしっかりと声を出し、堂々としたものでした。音読する態度や他学年児童の感想発表を聞く態度も姿勢よく聞くことができました。そんなところからも、この一年間の成長を見取ることができました。



1年生の音読発表

宿題や家庭学習で「音読」が課題として出されることがあると思いますが、学力向上の面からも「音読」は重要なものと考えております。国語の教科書だけでなく、算数や社会、理科の教科書も、しっかり「音読」ができれば、書かれていることがより理解できるのではないかと思います。家庭での御協力をよろしくお願いいたします。

租税教室

社会科では、「国民としての権利及び義務」について学習します。その中の、国民の義務(教育の義務・勤労の義務・納税の義務)の指導の一環として、納税の義務では、税金が国民生活の向上と安定に使われることを児童がよりよく理解できるように「租税教室」を実施しております。

2月6日(木)美里町総務税務課の方に指導をお願いして6年生を対象とした「租税教室」を開催しました。6年生の社



DVDの視聴等をとおして学びました

車いす・高齢者疑似体験

車いすに乗る人の
気持ちは？



体の自由が制限されると・・・

美里町社会福祉協議会の御協力のもと、4年生が「車いす・高齢者疑似体験」(総合的な学習の時間)を行いました。障害のあるなしにかかわらず、誰もが住みやすい社会の実現が求められています。そのためには、相手の気持ちが理解できること、相手の立場



に立って物事が考えられること等が大切になるかと思えます。頭で理解するだけでなく、疑似体験をとおして、子供たちが心で感じ取れることがあればと思い学習に取り入れています。

ミシン指導への御協力ありがとうございます



ミシンを使ってトートバッグを作る5年生

5・6年生の家庭科では、ミシンを扱う学習が位置付けられております。学級担任一人では、なかなか目が行き届きません。保護者・地域の方に授業に入ってもらい、直接子供たちに指導していただけることは大変ありがたいことです。ミシンを扱う技能の向上や安全管理の面からも大変助かります。

“カーリングママ” に注意！



※ある雑誌に掲載されたものの引用です。

この競技が冬季オリンピックの正式種目に採用されたのは、平成10年の長野大会だった。初めてだったので、実に奇妙な競技に映った。およそ40m先の直径3.66mのハウスという円に、約20kgのハンドルのついたストーンを投げて滑らせ、ハウスの中心にどれだけ寄せられるかで得点を競う競技である。回転しながら滑るストーンを、長柄のブラシで氷上を掃いてスピードや方向を調整し、ハウスの中央に誘導していく。これをスイープという。大の大人が懸命になってブラシで小刻みに氷上を掃く姿が、実にユーモラスで楽しめた。

カーリングママという言葉が出始めたのもこの頃である。子供に嫌な思いをさせまいと、カーリングのスイープよろしく、せっせせっせと障害物を取り除き、子供から気概を奪って、待つことができないわがままいっぱいの子供を育ててしまう、そんな母親を指している。

哲学者で大阪大学学長を務めた鷲田清一氏が自著『「待つ」ということ』の中で、「待たなくてよい社会になった。待つことができない社会になった」と述べていたが、待つことができる社会というのは、人が周りへの関心や想像力を失わないで、ゆとりをもって他を慮ることができる社会のことである。ところが今は、誰かと会うにしても携帯電話で連絡が取れ、待たないで済む。実に便利な世の中になったが、逆に効率が優先され、早く結果が求められるので、人の気持ちを酌むゆとりさえなくなった。前述のカーリングママも、一面的なものの見方・考え方しかできない今の社会の一つの現象とも言える。